

# 被災地 呉(広島)で清掃活動

静岡文化芸術大サークル

## 支援の継続 必要性訴え

浜松市中区の静岡文化芸術大の防災・減災サークル「さいのこ」が17、18の両日、西日本豪雨で被災した広島



床下の清掃作業に汗を流す学生ら＝広島県呉市 (はままつna net提供)

県呉市内でボランティア活動に取り組んだ。河村洋子准教授と13年生の男女5人が、浜松市内の企業でつくる団体「はままつna net」の派遣事業に参加した。同団体の2人と合わせて計8人が16日夜に現地入りし、被災した呉市安浦地区の民家や集合住宅の清掃作業などに汗を流した。民家では浸水で泥がたまった床下に身をかためて入り、

かき出し作業をした。さいのこ代表の落合秀真さん(33年、静岡市清水区出身)は「豪雨災害の怖さが分かった」と感想を述べ、「狭い床下での作業では小柄な女性が活躍した。いろいろな人の参画が必要」と、現地への継続した支援の必要性を訴えた。

はままつna netは、将来の地域防災力向上を目的に学生のボランティア参画を求めている。今回、学生の交通費などを同団体が負担し、学生らは同団体のボランティア向け無料宿泊所「ハコアパート」も利用した。同団体は今後も学生を含めたボランティアの派遣を継続していく。

(浜松総局・青島英治)